



議会だより

な お し ま

2023
No.203
令和5年4月10日

発行 ● 香川県直島町議会
編集 ● 広報編集特別委員会
電話 ● (087)892-2297
印刷 ● 山陽印刷(株)

いち早く春を告げるソメイヨシノ

第2期姫宮団地造成決まる(新年度予算)..... 3P

レッドバードの復活は(町長報告)..... 6P

生活応援クーポン利用状況は(委員会レポート)..... 8P

町長どう考えますか(一般質問4人が問う).... 9・10P

離島だけだと思っていたより便利です
(U・Iターン者に聞く)..... 12P

造成決まる

幸せを感じながら
住み続けられる
町を目指す

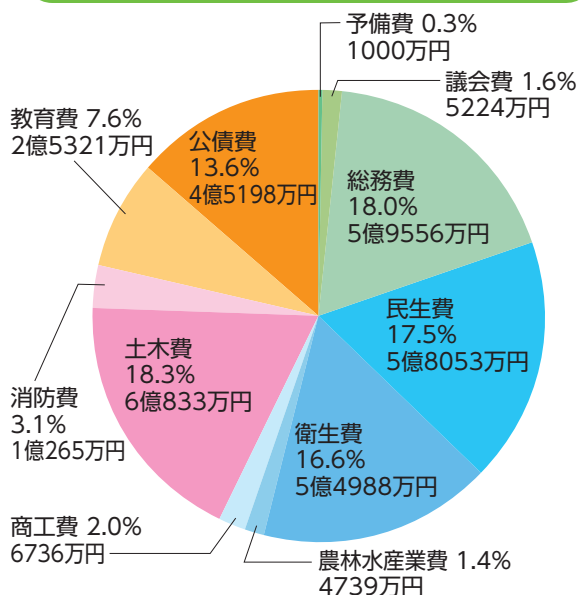


小林町長

3月定例会

3月定例会を7日から開催。令和5年度予算など議案30件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。
一般質問には4人が登壇し、町政を問いました。
予算大綱・各予算案に対し活発な質疑を行ない、13日に閉会しました。

一般会計歳出(支出)構成表



※数字は四捨五入していますので、合計が一致しないことがあります。

令和5年度予算総括表

会計	予算規模(万円)	対前年度比(%)
一般会計	33億1916	3.0
特別会計	国民健康保険事業	4億5180 ▲6.7
	介護保険事業	4億230 ▲0.9
	診療所事業	3億1971 18.7
	後期高齢者医療事業	6809 1.8
	下水道事業	2億7258 1.7
	宅地造成事業	1億901 1799.8
	小計	16億2349 8.2
簡易水道事業会計	5億7489 ▲22.9	
合計	55億1754 0.9	

簡易水道予定量 給水戸数 1,782戸
一日平均給水量 4,845m³



出産子育て支援事業

衛生費



移住定住対策

総務費



デジタルサイネージ事業

商工費



つり公園改善計画策定

農林水産業費

こんな事業に
使います

令和5年度一般会計予算 33億1916万円

第2期姫宮団地

予算大綱

主な質疑

絵に描いた餅にしないよう

Q (浜口) つり公園改善計画で、多くの釣り客や町民でにぎやかなのはうれしいことだが、以前のような多額の一般会計からの繰入金による運営は避けなければならぬ。

A コンサルに委託すると思うが、絵に描いた餅にならないよう慎重に検討してもらいたい。

いま町長が考えているランドデザインは。

A (町長) 多額の繰り出しはできる限り避けたい。個人的には固定桟橋があった方がいいと思う。

磯釣り場へ行けるようにしたいが、費用の問題もあるので十分検討したい。

経費削減・合理化とは

Q (西岡) 行政効果の乏しいものなど経費の削減や合理化に努めるとは具体的にどうい



改善計画が待たれるつり公園

うことか。

A (町長) 例えば、ひとつの事業をするにも、2年に分けたりして、なるべく平準化するなどの予算としている。

カード決済導入どうする

Q (山下) 令和元年9月定例議会で診療所のカード決済導入を質問した。

会計規則など広範な例規があり、さまざまな角度からの検討が必要であるので今後の課題とするとの答えだった。かなり年月が経過したが、進展はあったか。

A (町長) デジタルは多岐にわたるもので、もう少し時間がかか

る。

キャッシュレス化は避けては通れない気がするが、1年か2年先かは分からない。そういう方向へ進んでいくと思う。

事業内容と経費は

Q (宮原) デジタルデバイドの事業内容と経費はいくらか。

A (デジタル推進室長) 予算書には具体的数字は計上していないが、地域おこし協力隊の活動経費の中で捻出する。

新年度は香川大学地域活性化プロジェクトや高齢者と協力してデジタルデバイス対策にながが必要と考えていく。経費はお茶代・会場費・通信費などだ。

地震津波対策完了は

Q (浜口) 南海トラフ地震は30年以内に80%の確率で発生すると言われている。今後の地震津波対策のため調査を実施することだが、全島の事業完了の目

的は、全島の事業完了の目



横防家族用住宅整備事業

土木費



第1分団屯所更新事業

消防費



第2期姫宮団地造成事業

宅地造成事業



中学校堅穴区画改修事業

教育費

予算大綱つづき

途はいつ頃か。また、日ごろからの避難啓発や近所の声掛け・助け合いなどで多くの命を救うことができる。町長の思いはどうか。

A (町長) 町内の手付かずの海岸や離島地域など、まだまだできていない部分がある。一日も早く完了させた

いが、調査の結果を見てからだ。財政の問題もあるので完了の目途はわからない。避難啓発などについては、町も各地区自主防災組織を巻き込んで実施していきたいと思う。

町内一斉の防災訓練は

Q (小野) 以前、町民グラウンドで防災訓練を実施した。最近はどうか。

多くの町民が集まったので訓練は行なっていない。南海トラフ大地震が起きると相当な被害が出る。防災を意識してもらい準備をしておくためには、年に1回でも防災訓練は必要だと思うが。

A (町長) 前に実施していた防災訓練のスタイルがいいのかどうかの議論もある。各地区で避難場所を決めており、そこへ避難しようということになっている。

各地区防災会と連携して啓発を進めていきたい。

バス・電車への補助は

Q (中根) 高校生通学費の一部助成は高松・宇野航路の船賃の補助だけか。港からのバスの補助はないのか。

(町長) 船賃だけの補助だ。以前は

の補助だ。以前は

町単独補助だったが数年前に国から補助が出るようになり、現在は6割補助となっている。

造成スケジュールは

Q (山上) 現段階での第2期姫宮団地造成事業のスケジュールは。

A (建設経済課長) 注、10月までに造成工事を終わらせ、11月〜12月で登記、令和6年1月から分譲を開始したい。

温度差を感じる

Q (松島) 一般質問で移住定住化について例を示して質問したが、町長の答弁には温度感が感じられなかった。

答弁と予算大綱の人口増加・移住定住対策の内容に温度差がある。なぜか。

A (町長) 温度差はない。当然移住定住は大切な課題だ。一番いいのはなにか当然考えていく。

議員への答弁と予算大綱に書いてあることに温度差があるというが、私は一緒だと思っている。

基本計画を立てているか

Q (宮原) 今後、第1・第3分団屯所の更新が予定されているが、町財政は基金が少なくなっており厳しい財政状況だ。基本計画を策定して行なっているのか。

A (町長) 大地震の時は中核となる施設である。第3分団屯所建て替え計画については、土地も確定していないので、それを含めて基本構想、実施計画を併せて今後検討していく。



第3分団屯所の計画は

条例の一部改正

町職員定数条例の一部を改正する条例

趣旨

制度改革による定年引き上げに伴い、退職者数を複数年で平準化した場合に、一時的に現在の定数を超える期間が生じること、移行期間に計画的な採用をするため、部局の職員数を見直す必要が生じたことによるもの。

改正内容

町長部局の定数 60人から67人
賛成討論(浜口)
移行期間の定数
管理については、
採用計画に基づき
計画的かつ慎重に
運用をするよう要望する。

ふるさと海の家設置及び管理条例の一部を改正する条例

趣旨

昨今の原油価格、光熱費などの高騰



経営改善が図られるつつじ荘

一般会計

主な質疑

値上げの内訳は

Q (山上) 小中学校給食費改定の内訳は。

A (教育次長) 小学校1年～3年は4500円を4900円に。4年～6年は4800円を5200円に。中学校1年～3年は5300円を5700円に改定する。

新規事業の内容は

Q (西岡) 不妊治療費助成事業とは。

A (健康推進室長) 県の新規事業で、高度な不妊治療を行なった人に対して、令和4年度から保険適用することになり、自己負担分を町が助成し、のちに県から助成を受ける事業。

何を購入する

Q (小野) 自治振興費の備品購入品は。

A (総務課長) 防犯カメラを宮浦港駐車場に8台と、海の駅に2台を考えている。

生徒が危険

Q (西岡) 中学校体育館内の壁が老朽化し破損部分が見られる。生徒たちに落ちてきたら危険だ。早急に修理を。

A (教育次長) 今年度の予算に余りができたら修理したい。なければ来年度の予算で実施したい。

ゴミ袋が値上げ

Q (山上) ゴミ袋の単価アップはどのくらいなのか。

A (環境水道課長) ゴミ袋の購入価格が高騰し、販売価格より購入価格の方が高くなつたため値上げをする。また袋の種類によって10枚あたり20円～75円のアップだ。

討論

町民の安心安全の確保に

一般会計

賛成(西岡)

依存財源の伸びは期待できない財政状況だが、人口増加対策・移住定住促進・子育て支援・福祉の充実を重視し、限られた財源で当町に見合った財政運営を要望する。

賛成(西岡)

厳しい財政状況のなか、医師2人体制を維持し、24時間365日、町民の安心安全の確保に努めている。今後も、一般会計からの繰入金を少しでも削減できるように経営改善に尽力し、頼れる診療所であるよう要望する。



みんなが頼れる診療所に

令和4年度補正予算

一般会計

歳入・歳出予算の総額にそれぞれ3億1559万円を追加しました。

◎歳入の主なもの

●固定資産税

5544万円追加

●地方交付税

2億6642万円追加

●国庫補助金

4226万円追加

●繰越金

6469万円追加

●繰入金

6850万円 減

◎歳出の主なもの

●まちづくり基金積立金

1億2001万円追加

●財政調整基金積立金

2億9000万円追加

●診療所会計繰出金

416万円追加

●生活環境施設基金積立金

4006万円追加

●教育施設建設整備基金積立金

1001万円追加

●水産振興対策事業費補助金

2600万円 減



小林町長

いつになるかわからない

レッドバードの復活は

(主なもの)

- 12月12日 「年末年始の交通安全運動街頭キャンペーン」を宮ノ浦池交差点で実施しました。
- 12月23日 エコアイランドなおしま推進委員会が開催されました。
- 1月10日 四国汽船(株)の野崎社長他が年頭あいさつのため来庁されました。
- 1月18日 福武財団福武總一郎名誉理事長・福武英明新理事長他が年頭あいさつのため来庁されました。
- 1月25日 町総合教育会議が開催されました。
- 2月13日～14日 香川県町村会の視察研修に参加し、栃木県茂木町のモビリティリゾートもてぎ・美土里館他視察しました。
- 2月21日 ベネッセアートサイト直島の金代表他が協議のため来庁されました。

主な質疑

交通安全キャンペーンは

Q (山下) 年末年始の交通安全運動街頭キャンペーンをしてい

るが、それ以外でも実施してはどうか。

A (町長) 父兄や交通指導員が毎朝している

ので、今以上は難しい。必要に応じて協議したい。

ビオトープは継続か

Q (小野) 積浦のビオトープは、製錬



継続したいビオトープ

所が手を離すとの情報があるが、継続するのか。

A (町長) エコアイランドなおしま推進委員会で検討する。

ベネッセの体制は

Q (浜口) ベネッセ関係の人事異動は。

A (町長) 文化村の笠原社長が福武財

団の事務局長に就任し、宇野事務局長が瀬戸内国際芸術祭の特任担当に異動。

総合教育会議の内容は

Q (宮原) 町総合教育会議で施策大綱

等の変更はあったのか。

A (教育長) 町の教育方針について協議した。

Q (宮原) この総合教育会議は、自治

体の長の権限強化として法改正されたもので、長がこれを設置する。教育長より町長が説明すべきだ。

A (町長) 令和4年度幼児学園の教育

保育、小中学校の教育における成果と課題等を議論した。

研修で取り入れるものは

Q (西岡) 栃木県茂木町の視察で、な

にか町に取り入れたいものはあったのか。

A (町長) ホンダのサーキット場とか

農業での堆肥を大規模に作って、それを売っているのを視察した。町が取り入れるには規模が大きすぎることから、ちょっと難しい。ただ、文化交流館の中で、図書館の部屋を利用してアート、書道などを飾っていた。町もこのような施設があればいいと思った。

復活の予定は

Q (中根) 現在欠航となっているレッドバードの復活は。

A (町長) 四国汽船は「船員を一生懸命探している、もう少しお待ちください」ということだ。また、船員が確保できてもさらに研修期間も必要とのことなので、いつから運航できるかはわからない。再度、四国汽船に聞いてみる。



早い復活を願う



津山教育長

地域移行
これからだ

部活動の地域移行 準備会開催

(主なもの)

- 12月6日 町議会経済民生常任委員会と一般財団法人キッズポートとの意見交換会が開催されました。
- 12月14日 町部活動の地域移行推進準備会を開催しました。
- 1月7日 町二十歳のつどいが開催されました。
- 1月14日 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人香川県スポーツ協会主催の「運動部活動の地域移行フォーラム」が開催されました。
- 1月22日 町職員採用面接試験(行政職)が実施され、面接試験をしました。
- 2月4日 町青少年育成連絡協議会及び教育委員会主催の青少年ふれあいのつどいが開催されました。
- 2月14日 町人権・同和教育推進協議会が開催されました。
- 2月27日 讃岐地区教育長会及び東部教育長会が開催されました。

主な質疑

公開研究会の内容は

Q (山下) 校内公開研究会の内容は。

A (教育長) 中学校の英語教育で町外

から先生方を招いて、授業公開したものだ。香川大学から外国の先生に来てもらい、公開授業も開催した。



英語の授業を公開

部活動の地域移行は

Q (小野) 地域移行を、いつ頃までに考えているのか。また何回ぐらいい会を開くのか。

A (教育長) 国は休日を、令和5年度から7年度内に、町は7年度までにと考えている。また、準備会は2〜3カ月に1回、実施する計画にしている。

どの部活が対象に

Q (西岡) 部活動の地域移行推進準備会だが、対象になる部活は。

A (教育長) バレーボール・卓球・ソフトテニス・柔道・剣道・音楽・美術の7つだ。

マスクの着用いつまで

Q (山上) 卒業式や入学式では、前年度並みの感染防止対策で開催すると聞いているが、変更点はないのか。

A (教育長) 卒業式では、教職員・生徒・児童・園児は原則マスクをしなくても構わない。保護者、来賓はマスク着用となっている。4月1日以降は、教職員も子どもたちもマスクをしないことが原則となり、あとは個人の判断で着用することになっている。

ICTの活用状況は

Q (宮原) 全国で教育のICT活用が進んでいる。香川県は全国より遅れているようだが、町の状況はどうか。

A (教育長) 小学校は県平均をかなり上回っており、全国平均並みだ。中学校は、ほぼ県並みの状況だ。

※ICTとは

情報通信技術の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称です。

目標申告の内容は

Q (西岡) 目標申告と評価制度の最終面談で目標申告の内容は。

A (教育長) 幼児学園は「信頼される園づくりに取り組みました」
小学校は「学力・体力の向上を目標にあげ、特に外遊びや読書の習慣化に取り組みました」
中学校は「運動会、合唱コンクール、職場体験学習など、学校行事を充実させることができました」と報告があった。

委員会レポート

経済・民生

中根 委員長

ゴミ袋価格、水道料金の改定は

Q 状態調査はどういった調査か。

〇補正予算 年度末の係数整理等

〇国民健康保険条例の一部改正

〔住民福祉課〕

〇3月定例会提出予定議案

〇帯状疱疹ワクチン接種 370回実施

〇医師1人の異動予定

〔ふれあい診療所〕

〇看護師1月に1人退職、1月1人採用、4月に2人採用予定

〇生活応援クーポン等支給事業 (1月末の状況) 配布対象者数2966人

〔まちづくり観光課〕

〇出初式 1月14日 88人参加

〇年末警戒 12月27日～30日 延べ2077人出勤

総務・文教

山上 委員長

フレンドルーム事業終了

〔総務課〕

町議会議員選挙

〇告示日 4月18日(火)

〇投票日 4月23日(日)

消防団関係

〇年未警戒

12月27日～30日

延べ2077人出勤

〇配布済者数 2919人

〇配布率 98・4%

〇使用率 48・8%

〇取扱店舗数 44店舗

Q 主に使用されている業種は。

A 小売業が約78%

、ガソリンスタンドが約18%となっている。

ふるさと納税

〇(1月末の状況)

6066万円

〇前年度比

約450万円の増

A (課長) 民生委員に調査していた

き、ひとり暮らしの高齢者と高齢者世帯の方々の名簿を毎年作成している。

〔健康推進室〕

〇3月定例会提出予定議案

〇補正予算 子育て応援交付金事業・妊娠届出時、5万円。出生届出時、児1人あたり5万円。

Q ワクチンは何人に接種し、対象は何歳からか。

A (室長) 2回目を打った方が372

〔教育委員会〕

フレンドルーム事業終了

〇平成14年から教育委員会で実施してきた直島フレンドルーム事業は、

キッズポルトが運営する

子ども第3の居場所事業

「ナオシマ セイラーズクラブ」の預かり事業が

同等の運営がされると判

断し、令和4年度をもって終了することとした。

Q この件について保護者へ周知を行った後、教育委員会に意見等はなかったのか。

A 対象年齢は50歳以上。

〇94日営業で2111人。

〇積浦地区宅地造成事業

A 教育委員会への問い合わせはなかった。

小中学校制服のジェンダーレス化

〇今年の小中入学生周知会において、男女の性別をなくし、全員ズボンの着用が可である旨の説明を

するとともに、在校生にも別途周知した。

制服のジェンダーレス化は大きく3段階あり、今

回直島小中は、性別の指定を取り除くことにより

第2段階まで移行となる。

〇に係る登記料、測量設計等業務、土地購入費

などの説明があった。

Q (小野) 農業委員会が廃止され、農業専門委員を設置する

が、どのような方が何人

くらい委員になるのか。

A (課長) 人数は5

人以内で、地元の農業農地に詳しい方、農

地を持って耕作されている方、それと水利組合長

も入りたいと考えている。

Q (課長) 工事内容

に變更がないので、基本的

に請負金額は変わらないと思っ

ている。工期は夏前後と聞いている。

二十歳のつどい

〇1月7日(土)

〇今年から名称を「成人式」から「二十歳のつどい」に変更し開催した。

〇二十歳の出席者数 18人



二十歳のつどい

〇水道料金改定

〇玉野市から2～3年は見送る旨の連絡があっ

たことから、令和5年

度の料金改定は見送る。

Q (中根) 下水道長

寿命化工事は、工

期内に終わらないよう

だ、請負金額が上がる

ことはないのか。

A (課長) 工事内容

に變更がないので、基本的



山上 議員



西岡 議員

野良猫への餌やり問題は、長年の懸案事項であり、悪質な事例では他人の敷地内に餌をまく人もいて、糞尿で芝が枯れたり悪臭により、多くの住民が迷惑している。

町としても、住民からの苦情があればその都度ふれあい通信や広報での啓発を実施している。

また、野良猫の増加を抑制するため、避妊去勢

野良猫対策一歩進んだ対応を
〔町長〕根気強く指導していく

手術に対する助成制度により対応している。

しかし、猫は早いものでは、生後4カ月で子猫を産めるようになり、年に2〜4回の発情期があり、4〜8匹の子猫を産むことから、対策が追い付いていないのが現状だ。

今年度の宮ノ浦自治会の要望書の回答では、町から東讃保健所に協力を依頼し、保健所職員と一緒に町内の見回りを予定

を始めている市町村が増えている。

具体例だが「理髪・美容サービス」・「紙おむつを支給または現金の助成をする」など、家族の経済的負担を軽減させるさまざまな支援をしている。少子高齢化が進む町

要介護者に独自の支援を
〔町長〕なお一層検討する

しているとの回答だった。

今後、町として一歩進んだ対策が必要かと思うが、避妊去勢手術の助成の実績と町内の見回りの実施状況の結果と併せて、今後の対策について町長の見解を伺う。

A (町長) 猫の避妊去勢手術の実績は、令和2年度は13匹、令和3年度は12匹、令和4年度は現時点で36匹と

なっており、大幅な伸び

においても紙おむつの助成等、介護者家族に独自の支援をしたらどうか。

A (町長) 社会環境の変化や高齢者の

生活思考や意識の多様化など、さまざまな課題に対応しなければならぬと感じている。

となっているのは、個人で多くの野良猫を保護し去勢手術を受けさせている方によるものだ。

また、東讃保健所との見回りは、3月中旬から下旬を予定しており、町民から情報提供のあった野良猫の集まる場所や置き餌がある場所を回り、助言をもらう予定だ。

野良猫は迷惑な存在だからといって、命ある動物を捕獲して処分することはできない。飼い主のいない猫をできる限り減らして、地域で見守っていくことが動物愛護の適

他の自治体で実施している要件を見ると、住民税非課税者で且つ寝たきりの方の条件などが大半であることから、要介護者全てを対象にするのは大変難しいと考える。

また、紙おむつ代控除の制度等現有の介護サービスを最大限に有効活用いただきたい。不明な点や相談があれば住民福祉課・健康推進室・福祉セ

切な管理につながると考えている。

町としては引き続き適正飼育を支援するため、避妊去勢手術費用の補助を継続し、猫の正しい飼い方や餌やりのマナーについて注意喚起を行な



手術を施し地域猫へ

い、東讃保健所との見回りを継続して、無責任な餌やりはしないよう根気強く指導していきたい。

(山上) 繁殖を防いであって適正な飼育活動を行なうボランティア団体を地域猫活動団体という。県下の自治体でも多く活動しており、助成制度も充実していると聞いている。

町でも現在、個人的に活動している方がいるとのことなので地域猫活動への支援を含め、今後の対策に努力してほしい。

のサービスの展開を願いたい。

Q (西岡) 他の自治体ではさまざまな独自サービスを展開している。当町も何らかの支援策が必要ではないか。

A (町長) 大変難しいがなお一層検討する。

(西岡) ぜひとも検討していただき、高齢者や障がい者に寄り添った独自



手厚い支援を



中根 議員



松島 議員

先日、町内で葬儀の世話をされていた方が亡くなられた。これから先は今まで通りの葬儀が困難になり、葬儀会社などを利用するしかなく、今まで以上に高額な費用が必要になってくると思われる。

今般、東京都小池知事は無条件で18歳までの子ども育成支援金を月額5千円支給すると発表。また、葛飾区は来年度から区立小中学校の給食費を無償化するという。そして今、国会では児童手当の基準緩和が議論されている。

「子育て支援策を取り組んでいく」

当町では「直島町へ移

住（転入）された方へ」を発行し、子育て支援として

○子育て支援事業（おむつ・ミルク代）

○出産奨励金（第2・3子） 出産時、小・中学入学時、それぞれ5万円

○児童手当、同扶養手当

（町長）引き続き支援策に取り組んでいく

等

○第3子以降保育料免除

○通学航路費補助

○18歳未満医療費助成

等、26項目が列挙されている。

大正大学地域構想研究所の大沼准教授によると「子育て支援充実は、人口増加に直結」と、総社市など5例を列挙し

ている。（ネット検索「人口増加をし続ける自治体の根底にあるもの」より引用）。

現在の直島町は、ベネッセによる現代アートの聖地として国際モデルとなっている。そこで次は「子育て支援」をはじめとする人口増加スキームの全国モデル自治体として飛躍してほしいと願っている。今後の対応について町長の見解を問う。

（町長）議員も述べているが当町は周辺自治体と比較しても先進的なポリシーをそろえており、転入者に対する魅力のひとつとなっている。今後も引き続き、何ができるか考えながら切れ目ない支援策に取り組んでいく。

長野県南木曾町と北海道の厚沢部町の2例の成功例を示す。これらを参考に具体策に取り組んでもらいたい。

（町長）全国でいろいろな方法等がある。十分加味しながら検討する。

（町長）議員も述べているが当町は周辺自治体と比較しても先進的なポリシーをそろえており、転入者に対する魅力のひとつとなっている。今後も引き続き、何ができるか考えながら切れ目ない支援策に取り組んでいく。

（町長）全国でいろいろな方法等がある。十分加味しながら検討する。

（町長）葬儀の形態がアイランドサポーターと、隣組など地域の方々と共同で執り行なう形から、コロナの影響もあり、家族と葬儀社で行なう家族葬へと移

り行なえるよう、早急に関継者の選任や育成を行ない、町民に安心いただけるよう、素早い対応を望む。

行され、会場も故人宅から町内の集会場などに移り、現在では大半が町外の葬儀場を利用する形に変化している。令和2年4月頃に、自治会と葬儀社が覚書を締結しており、基本的な費用の抑制や規模に応じた費用の負担がある程度明確化されており、葬儀の方法を決める判断材料になるもの

「これまでのような安い費用の葬儀を」

（町長）自治会と葬儀社が覚書を締結



これまでのような葬儀を

と考えている。地元人材の後継者づくりについては、他の自治会とも、しっかりと議論・検討していただき、具体的な方向性を議員自らも知恵を出し、汗をかいて最善な葬儀のあり方を構築していただきたいと考えている。

人事

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員に山本貞二氏を選任することに同意しました。

任期は令和5年3月15日から令和8年3月14日まで



山本 貞二氏

教育委員会委員の任命

教育委員会委員に清水宏氏を任命することに同意しました。

任期は令和5年4月1日から令和9年3月31日まで



清水 宏氏

表彰

自治功労で表彰

全国町村議会議長会会長から、永年にわたり地域の振興発展及び住民福祉の向上に寄与した功績に対し、井下良雄議長が表彰されました。



井下良雄 議長

監査報告

監査委員 大林 清
〃 小野 孝一

最少の経費で最大の効果を

本年度の税収等については、町内各企業の設備投資に係る償却資産の増加に伴い、固定資産税が増収となっているが、社会保障関係費の自然増、公債費が高い水準で推移しているため、楽観視できない財政状況となっている。経費の節減・合理化、公共事業の再検討など、費用対効果を重視した事業を実施するようお願いしたい。

指摘要望事項

《一般会計》

歳入面では、固定資産税等の増収、ふるさと応援寄附金が増収となっている。歳出面では、総合福祉センター大規模改修、焼却施設設備補修などの工事が施工されている。各種事業を実施するときには、激変する政局や経済情勢に留意しながら、特に効果のある事業を最優先しつつ、税についても、滞納整理に対する取り組みを一層強化するよう望む。

《特別会計》

(国民健康保険事業)

本会計は、1人当たりの医療費、1日当たりの医療費の平均が県内市町の中で最も高い状況で推移している。国民健康保険財政の環境は、大変厳しい状況が予想される。改善策として、特定健診・特定保健事業の充実や国保税の滞納整理の取り組みも強化し、健全な運営に向け、一層の努力を望む。

(下水道事業)

浄化センターが供用開始から20年以上経過し、老朽化に伴い、長寿命化工事などが施工されている。また雨水ポンプ等の維持管理に係る経費、公債費が重い負担になっている。経費の適正な執行に努めるとともに、住民の十分な理解のもと、一層の努力を望む。

離島だけど 思っていたより便利です。



寺西真梨子さん

今回ご登場いただくのは久しぶりのU・Iターナーの寺西真梨子さんです。

Q 初めまして、こんにちは。本日はよろしくお願ひします。まず、どちらから、いつごろ来られましたか。

A (寺西) よろしくお願ひいたします。昨年7月に大阪から来ました。

Q 現在、どちらでどんなお仕事をされていますか。

A (寺西) つつじ荘でフロント業務を経て、今年度よりつつじ荘内「EAT LOCAL 直島食堂」の運営を担当しております。

Q 今、力を入れてがんばっていることは。

A (寺西) 食堂が立ち上がって間もないこともあり、いろいろな取り決めやスタッフの育成に力を注いでいます。

Q 移住にあたって、直島に決めた大きな理由は何ですか。

A (寺西) 4年ほど前

に旅行で訪れたことがあり、その時に見た瀬戸内の島々の景色がとても美しかったことです。

Q 実際に住んでみて良かったところ、思っていたのと違ったところはありますか。

A (寺西) すぐ近くに海があることが半年経った今でも嬉しいですね。離島だけ翌日に荷物が届くことに驚きました。

Q 町民の友達はできませんか。町民の皆さんと接してみてもどのように感じましたか。

A (寺西) シェアハウスに住んでいるので、皆さんとご飯を作ったり、海

でワカメを採ったりしています。町民の皆さんは、

やさしくな方が多いと感じています。

Q 直島が今後こうなっていくといいと思うところはありますか。

A (寺西) 質問の趣旨と違いかも知れませんが、この景色や空気がいつまでもここにあれば良いなと思います。

Q 島で永住してもいいという気持ちはありますか。

A (寺西) 次に住みたいところができる時まで、直島にいたいと思っています。

Q 職場の皆さんに質問です。寺西さんはどんな人ですか。

A (泉 翔馬) 気さくな性格で、お客さまやスタッフ間のコミュニケーションがしっかり取れる人で尊敬しています。直島に愛着があるのもいい



心をこめて作っています

ところですね。

Q 最後に町民の皆さんにメッセージなどありましたらどうぞ。

A (寺西) 2月から食堂の担当になり、町民の皆さんと顔を合わせる機会もぐんと増えました。ご意見やご要望があればぜひお聞かせください。現在、一緒に食堂を盛り上げてくださる方を大絶賛募集しますので、こちらの方もどうぞよろしくお願ひします。

寺西さん、ありがとうございます。ありがとうございました。町民、観光客の皆さんのランチはお任せします。

町民の皆さんも、つつじ荘の「直島食堂」をよろしくお願ひします。

編集後記

先日、小学校の卒業式で卒業証書を胸に抱き、ステージ上で「私の将来の夢は○○です。そのため中学校では○○をがんばります」と、大声で発表。実現に向け努力してほしいと感じました。

3月定例会が無事終了しました。「新年度予算大綱」では全議員が手を挙げ、町長の考えを問いました。大綱は町が新年度の町政をどう進めていくかという方針・目標を掲げるもので、それを実行することが重要です。

議会も新年度から新たに発注することになり、新体制で町発展に汗をかかねばとの決意です。

(井下 記)

広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 井下 良雄 |
| 委員長 | 山下 玲子 |
| 副委員長 | 浜口 敏夫 |
| 委員 | 山上 英一 |
| | 西岡裕喜広 |
| | 中根 清孝 |
| | 宮原 三郎 |
| | 小野 孝一 |